

氏名	新村洋未	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	基礎看護学				
学位	修士(保健学)				
学歴	1991年埼玉県立衛生短期大学第一看護学科卒業、1992年埼玉県立衛生短期大学専攻科地域看護学専攻修了、2003年群馬大学大学院医学系研究科修士課程修了				
経歴	1999年埼玉県立大学保健医療福祉学部助手、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2015年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	日本公衆衛生学会、日本人間工学会、日本看護技術学会、日本看護学教育学会				

【2016年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	新看護学8 基礎看護[3] 臨床看護概論(第15版)	共著	医学書院、264ページ	新村洋未、國澤尚子、木村伸子、武田美津代	2017.1
2	はじめて学ぶケーススタディー書き方のキホンから発表のコツまで	共著	総合医学社、135ページ	國澤尚子、新村洋未、須賀夏子、畔上光代、大塚真理子	2016.7
(2) 論文					
1	該当なし				
(3) 学会発表					
1	熟練看護師における静脈血採血の穿刺手技	共著	日本人間工学会関東支部第46回大会、高崎市	○新村洋未、國澤尚子、小川鑑一	2016.12
(4) その他					
1	みんなの健康を、みんなで守る ヘルスポロモーション研究センター「今こそ地域診断」既存統計資料を活用した地域診断(解説)	共著	地域医学、30巻7号、578-584	柳川 洋、吉葉 かおり、嶋田 雅子、野藤 悠、阪本 康子、保科 ゆい子、中村 正和、若林 テヒロ、笹尾 久美子、新村 洋未	2016.7
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究(C)(一般))	穿刺力に着目した成功率を高める採血技術可視化教育モデルの開発(研究代表者)			2015.4~2018.3
3. 教育業績					
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
(1) 講義					
1	看護過程論	2016.11~2017.2	科目責任者と協力しながら、1年次生を対象に、看護過程に必要な思考の方法が理解できるようグループワーク指導を行った。		
2	感染管理	2017.1	科目責任者として3年次生を対象に、医療機関における感染管理の実践についてゲストスピーカーを招いての講義、グループワーク等を行った。		
3	看護研究	2017.11	3年次生を対象に、看護研究の手法のうち、実験研究について事例を活用しながら講義を行った。		
4	大学院 基礎看護技術・看護工学	2016.4~2016.7	大学院生を対象に、工学的手法、生理学的手法を用いた研究例を紹介して討議を行った。		
5	認定看護師教育課程 情報管理	2016.9	緩和ケアコースの受講生30名に対し、実践の場で必要な情報処理、管理能力が身につくようコンピュータを用いた情報処理の実践について講義、演習を行った。		
(2) 演習					
1	看護方法Ⅲ	2016.4~6	科目責任者として2年次生を対象に、検査や治療に伴う援助技術について根拠に基づいた実施ができるよう講義・演習を行った。		
2	看護方法Ⅱ	2016.4~7	科目責任者と協力しながら、2年次生を対象に、日常生活の意義と援助の原理原則を理解して行動できるよう技術指導を行った。		

3	看護方法Ⅳ	2016.7	科目責任者と協力しながら、2年次生を対象に、前提知識に基づいたフィジカルアセスメント技術の指導や看護過程展開のためのグループワーク指導を行った。	
4	看護方法Ⅰ	2016.11～2017.2	科目責任者と協力しながら、1年次生を対象に、観察技術、感染予防技術など基本的な技術の重要性と具体的な方法が理解できるよう演習指導を行った。	
5	大学院 看護学演習(基礎看護技術・看護工学)	2016.10～2017.1	大学院生を対象に、論文クリティーク、研究構想の提案、研究計画発表表に対して助言を行った	
<b>(3)実習</b>				
1	ヒューマンケア体験実習	2016.9	宮代町福祉作業所ひまわりの家を担当し、施設との打ち合わせ、学生指導、グループワークのファシリテータを行なった。	
2	基礎看護学実習Ⅰ	2017.2	埼玉県立がんセンターにおいて見学実習を行う1年次生の指導および病棟との連絡調整を行った。	
3	基礎看護学実習Ⅱ	2016.10	獨協医科大学越谷病院6階南病棟において受け持ち患者への看護実践の実習を行う2年次生10名の指導および施設・病棟との連絡調整を行った。	
4	総合実習	2015.5～7	春日部市立医療センター6階N病棟において総まとめとしての実習を行う4年次生5名の学内実習の指導および病棟実習支援を行った。	
<b>(4)論文指導</b>				
1	学部 卒業研究	2016.4～2017.1	3名	
<b>(5)その他</b>				
1	該当なし			
<b>4. 社会貢献活動</b>				
<b>(1)講演会、研修会等の講師</b>				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	看護学生実習指導者講習会	埼玉県看護協会	基礎看護学実習の展開	2016.6
2	埼玉県看護協会継続教育一般研修	埼玉県看護協会	基礎から学ぶ看護過程	2016.8
3	埼玉県看護協会継続教育一般研修	埼玉県看護協会	効果的なプレゼンテーション	2016.12
4	越谷市立病院看護部キャリアラダー研修	越谷市立病院看護部	看護研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	2016.5～7
5	健康教室	埼玉県立浦和高等学校定時制	動くこと休むことから考える健康	2016.11
<b>(2)国、自治体、財団法人等における委員等</b>				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	埼玉県	埼玉県准看護師試験委員	2015.4～現在	
2	日本看護学教育学会	第26回学術集会実行委員	2016.8	
<b>(3)ジャーナリズムでの発言</b>				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
<b>5. 学内運営(委員会委員)</b>				
1	情報図書委員会 ICT教育支援部会部会員			
2	教育開発委員会 教務運営部会会員			
3	看護学科委員 カリキュラム運営・検討部会会員			
4	看護学科委員 助産師・保健師関連科目履修者選考委員			
5	看護学科委員 教務運営部会補佐			
<b>6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)</b>				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
<b>7. 特許の保有状況</b>				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
<b>8. 特記事項</b>				
	平成28年度看護学科ホームカミングデーの担当(2016.7)			